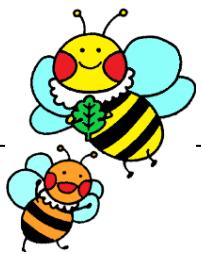




い　ぶ　き

【学校教育目標】自律・尊重



今年もよろしくお願ひいたします

2026年の幕開けです。午年の勢いにあやかり、子どもたちには前向きな気持ちで、1年を駆け抜けていってほしいと思います。そうは言っても、子どもたちの歩みは、みな違います。一人ひとりの歩幅に寄り添いながら、保護者の皆様と手を携えて、子どもたちを見守っていきたいと思います。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

教え子の教え③…

30代の頃、6年生の直也君（仮名）という子を担任しました。直也君は5年生の1学期から不登校でしたので、私が担任になった時には、すでに1年近く欠席が続いていました。

1学期の始業式の日。私は教科書を届けがてら家庭訪問をしましたが、直也君には会えませんでした。子どもの側に立って見れば当然のことです。長期間学校を休んでいるというのに、簡単に担任の前に顔を出せるわけがありません。ここでお断りしておきます。不登校は特別なことではありません。自律に向かう途中に出合うであろう、子どもの前に立ちはだかる壁の1つです。大人も子どもも、人生山あり谷あり。いつも順風満帆というわけにはいきません。

私は無理に直也君に会おうとはしませんでした。ただ、直也くんのことをたくさん知りたかったので、お母さんとの面談を重ねました。直也君が学校を休み始めたきっかけは何だったのか。その後の家庭での様子はどうであったか。外出はできているのか。本質的な問題は何か。お母さん、お父さんの思いは…。数ヶ月が過ぎたころ、直也君がこう言ったそうです。

「なんでぼくの担任の先生なのに、お母さんばっかり会っているんだ。」
ようやく直也君に会える時がやってきました。家庭訪問をして、初めて直也君と対面しました。初めは緊張している様子でしたが、徐々に口を開き始めました。彼は「釣り」に興味を持っていました。当時は「手作りルアー」が流行っていて、直也君は一生懸命作った自家製のルアーを照れくさそうに、そしてちょっぴり自慢げに見せてくれました。その後も、私は無理に学校に誘うことはせず、直也君との信頼関係作りに励みました。



ある日のこと。二人で話をしている時に、直也君が「釣りに行きたい」と言い出しました。さっそく、直也君と気心の知れたクラスメイトにも声をかけ、釣りに出かけることにしました。（当時は、休日に教師が子どもを連れて車で出かけることができる、のどかな時代でした…）我々は獲物となるブラックバスを仕留めるため、一路牛久沼へと向かいました。意気揚々と出かけたものの、魚はなかなか釣れず、いつの間にか日が暮れていきました。皆あきらめ気分で、もう帰ろうかと思い始めたその時です。直也君の釣り竿がヒットしました。直也君のために出かけた魚釣りで、直也君だけが獲物を釣り上げました。それはまるで、ドラマのワンシーンのようでした。

その後、直也君は放課後になると、度々教室に遊びに来られるようになりました（彼にとっては1年ぶりの学校です）。気心の知れた仲間たちは、その日を心待ちにし、いつも直也君を囲んでにぎやかな輪ができていました。

年を越え、卒業式も近づいてきた2月。私は直也君に負荷をかけることにしました。

私 「直也君、卒業式、どうする？」

直 「うーん、別にどっちでもいいよ。」

私 「どっちでもいい？じゃあ、出てもいいっていうこと？」

直 「うん…出てもいいし、出なくてもいいし…。」

直也君の中には以前から「中学校からは登校したい」という思いがあり、その時期には、その気持ちを口にするようになっていました。だから私は卒業式への参加を提案したわけです。

(もちろん拒否されたらすぐに引っ込める作戦で。) 話を続けます。

私 「じゃあさ、出るって決めちゃいなよ。卒業式はたくさんのお母さんお父さんがくるじゃない。だからこそ出席するんだよ。たぶん、『ああ、あの子が学校を休んでた直也君ね』っていう物珍しそうな目で見られることになると思うよ。その親たちの視線に勝って、卒業証書をもらえたなら、直也君は間違いなく中学校に通えると思うよ。」

その日、彼は帰宅するや否や、「ぼくは卒業式に出る！」と両親に宣言したそうです。

卒業式当日。直也君は誰よりも早く登校しました。朝から登校するのは、実に2年ぶりのことです。前日の放課後に、仲間たちと一緒に行った、体育館での秘密の特訓が功を奏し、式では皆と同じように卒業証書ももらうことができました。

私は、彼とご両親から、たくさんのこと学びました。

1つ目はご両親の思いです。直也君のお母さんとお父さんは、不登校の我が子を抱え、この2年間というもの不安が絶えませんでした。しかしお二人は、決して下を向きませんでした。「直也には生きる力がある。きっかけさえあれば必ず復活する」そう信じて、明るく温かく彼を包み込んでいました。ですから彼は、安心して学校を休むことができたのだと思います。

2つ目。それは、直也君の「自律（成長）へのエネルギー」です。釣りについて語った時の生き生きとした表情。魚を釣り上げた時の満面の笑み。自分の意志で、放課後の学校に足を運べたこと。そして、卒業式に出席し、参列者の視線に負けず、壇上で堂々と卒業証書を受け取ったこと。子どものもつエネルギー、成長への可能性の素晴らしさを、私は数々の感動と共に、直也君から教えてもらいました。

中学校入学後、直也君は毎日登校するようになりました。それから1年が経ちました。修了式の後、親友の靖夫君（釣り仲間）と共に、久しぶりに直也君が小学校に遊びに来ました。手には通知票を持って。靖夫君が言いました。「先生、こいつ（直也君）さあ、2年も学校休んだくせに、今じゃ俺よりも成績いいんですよ、まったく…。」思わず笑ってしまいましたが、これを聞いた時に、私は思いました。「そうか。やる気になれば勉強の遅れなんて、いくらでも取り戻すことができるんだな」と。

その後、直也君は皆勤賞で中学校を卒業しました。今は立派な社会人として活躍しています。

◇ 1月の行事予定

| 日 | 曜日 | 行事予定 | 日 | 曜日 | 行事予定 |
|----|----|---|----|----|--------------------------------|
| 7 | 水 | 始業式 3時間授業 下校 11:15 | 20 | 火 | 3時間授業 給食あり 12:30 下校 教職員研修日 |
| 8 | 木 | 3時間授業 下校 11:15 身体測定 6年 ひまわり | 21 | 水 | 朝学読み聞かせ(3年) クラブ活動⑤(3年クラブ見学) |
| 9 | 金 | 給食開始 全学年5時間授業 下校 14:40 校内書き初め大会(体育館) 1,2校時…3年 3,4校時…4年 身体測定 1, 5年 | 22 | 木 | 避難訓練(対火災) |
| 12 | 月 | (祝) 成人の日 | 23 | 金 | わくわく交流会 3年 ステップアップ学習 |
| 13 | 火 | 校内書き初め大会(体育館) 1,2校時…5年 3,4校時…6年 | 28 | 水 | 朝学読み聞かせ(4年) クラブ活動⑥(最終) |
| 14 | 水 | 朝学読み聞かせ(2年) 委員会活動 身体測定 2, 4年 | 29 | 木 | なかよし活動②(昼休み) |
| 15 | 木 | 校内書き初め展 9:00~16:00 (~16日) 身体測定 3年 | 30 | 金 | 3年 ステップアップ学習 |
| 16 | 金 | 3年 ステップアップ学習 | | | |